

大会報告書

第8回全国高校 教育模擬国連大会

ALL JAPAN
EDUCATIONAL
MODEL UNITED
NATIONS



Date: 2024年8月6日(火)-7日(水)

Theme: 保健医療



AJEMUN

目次

大会実行委員長より	2
大会セクションリーダーより	3
第8回大会概要	5
受賞者一覧	6
議場講評・受賞者コメント	8
参加者アンケート	20
大会事務局長より	22
参加校一覧	23
大会実行委員一覧	24
大会役員一覧	25
後援・協賛企業一覧	26
次年度大会のご案内	26

大会実行委員長より

大会実行委員長 渋谷教育学園幕張高等学校 3 年 橋本照一郎

皆様、この度は第 8 回全国高校教育模擬国連大会（AJEMUN）にご参加いただき、誠にありがとうございました。大会実行委員長を務めさせていただきました、渋谷教育学園幕張高等学校 3 年の橋本照一郎と申します。

まず、こうして今大会を大きな滞りなく終えることができ、大変嬉しく思います。大会の成功に向けて尽力して下さった事務局の方々、顧問の先生方、そしてスポンサーの皆様にご心より感謝申し上げます。また、今回の議題に大変関連性のある「グローバル保健ガバナンス」について興味深い基調講演をして下さった詫摩先生に、参加者・実行委員を代表して厚く御礼申し上げます。

今大会の実行委員としてまず実感したことが、僕たち高校生の模擬国連活動はこうして様々な方の支えのもと成り立っているということです。自分が大使として参加する中では、つい会議に夢中になってしまい気付きにくいかもしれませんが、参加者の皆様には、こうして模擬国連ができる環境への感謝の気持ちを決して忘れないでいただきたいと思います。

2 日間会議を見ていて、普段よりも実感の増した議論がなされていたことが印象的でした。これは議題が「薬剤耐性菌への対応」という、コロナ禍を経験した我々にとって身近に感じられるものだったということもあるかもしれませんが、何より参加者の皆様の事前準備・リサーチの質の高さ故のことだったと思います。そして、どの議場も国家間の支援の形態について詳細まで話し合っていることに感心しました。昨今の会議では、どうしても「支援」についてはあまり深い議論がなされず、実現可能性の低い支援文言が羅列されるケースが散見されます。しかし、今回の会議では、全体的に「誰が」「誰に」「何を」「どのように」といったことが細部まで詰められていることが多く、非常に具体的で有意義な議論がなされていたと感じます。他の議題であっても、皆様には国連大使としての当事者意識を持ち、リサーチや議論にあたってほしいと思います。

また、この大会を通じて、僕は模擬国連の様々な「良さ」を再認識させられました。会議前・会議中においては、先程申し上げた通りの実感を持ったリサーチや議論がなされていましたが、それ以上に、僕は会議後の皆さんの様子に模擬国連の魅力が詰まっていると感じました。まず、会議直後であっても自分の政策や会議行動について反省をする人から、熱心に他人にフィードバックを求める人まで、様々な形で皆様の向上心を感じました。同時に、会議で出会った仲間と写真を撮ったり、連絡先を交換したり、同世代の高校生と交流している人も沢山いました。そして、結果発表の後は心から喜んだり、悔し涙を流したり、自分の模擬国連に本気で向き合っている人が多かったと感じます。僕は、この 3 フェーズ全てが初めて模擬国連の「教育」的意義が発揮されると思います。是非これからも会議後の振り返りや人間関係の構築を大切にしてください。

最後に、今大会を通じて「AJEMUN に参加してよかった」「これからも模擬国連を続けていきたい」と思っただけのなら、実行委員としてこれ以上嬉しいことはありません。今大会が皆さんの夏の思い出に残ると同時にこれからのご活躍の原動力となることを期待しつつ、実行委員長の挨拶に代えさせていただきます。

改めて、第 8 回 AJEMUN にご参加いただき、本当にありがとうございました。

大会セクションリーダーより

フロントセクションリーダー 浅野高校 2年 高橋至

皆さん、お久しぶりです。今大会のフロントセクションリーダー、そして A 議場の議長兼会議監督を務めさせていただきました、浅野高等学校 2 年の高橋至です。

皆さん、AJEMUN に参加していただきありがとうございました！開会式や閉会式で会場を見渡したとき、「これだけ多くの方がこの大会に参加して下さったんだ」と思うと本当に嬉しく、とても感激したことを覚えています。

さて、皆さんにとって、AJEMUN は楽しかったですか？会議では自分の思い通りにいって達成感を得た人もいれば、上手くいかず悔しい思いをした人もいるでしょう。ですが、事前に提出する NP・PPP を作成し、その後もスピーチの準備や他国リサーチを行い、夏休みの 2 日間を使って全ての大使が自分の目標に向かって努力していました。また、AJEMUN は全国各地の学校からご参加いただき、会議後には普段の生活では出会えないような人と交流を深めるということもあったかと思います。それらの経験は模擬国連でしか味わえないとても貴重なものであり、皆さんがいま振り返って「楽しかった」と感じてくだされば、実行委員としてこれほど幸せなことはありません。

それと同時に、今大会は実行委員にとっても本当に楽しいものでした。AJEMUN は大使の皆さんに限らず実行委員も全国各地の学校から集まっているため、普段の練習会議で顔なじみの人も初対面の人も一丸となって、オンラインミーティングを何度も重ねて約半年間準備を進めて来ました。大使としてではなく仕事仲間としてそれらの方々に関わるのは新鮮な感覚でしたが、閉会式にてエンディングムービーを見ているときは、大使としてコンセンサス投票で DR を可決することができたときのような、言葉で表せないほどの充実感と満足感に浸ることができました。準備期間も含めて、AJEMUN の実行委員としての経験は本当にかけがえのないものだったと感じます。ともに大会を成功に導いてくださった、顧問の先生方、事務局の方々、そして実行委員の最高の仲間たちに心より感謝申し上げます。

最後に、皆さんの今後の模擬国連人生がより一層充実したものになることを祈るとともに、今大会に関わってくださった全ての方々に重ねて御礼の意を表し、挨拶とさせていただきます。

また模擬国連の会議でお会いしましょう！

運営受付セクションリーダー 渋谷教育学園渋谷高等学校 3 年 川西天

皆さん、こんにちは！ 運営・受付セクションリーダーを務めさせていただきました、渋谷教育学園渋谷 3 年の川西天です。

さて皆さん、この大会を通じて「繋がる」ことはできましたでしょうか？そして何より、楽しむことはできたでしょうか？

全国から 84 校・624 名。この数字を文面で理解していたつもりでしたが、実際に閉会式前の会場前に集まった人々や、クロークに預けられた荷物の数を見て、改めてこの AJEMUN という大会の規模を実感しました。大勢の人が一堂に会し、「繋がった」会議は、どの場面を切り取っても素晴らしいものだったと思います。

交流会ではそのような皆さんのエネルギーを壇上にて全身で体感することができました。僕たちの想定を大きく超え、パフォーマンスを求める大使、それに見事に対応してくれた裏方の運営メンバー、そして会場全体の盛り上がりによって楽しみたいという気持ち、それらすべてが大きく「繋がり」最高に楽しい空間を作り出すことができました。

今大会を終え、様々な感情を抱いていることでしょう。そこで皆さんにお願いがあります。この会議を通じて感じたことや思ったことを、何かに「繋げて」ください。その経験がどの

ようなものであったとしても、自分自身でその経験を見つめ直し、成長の糧として繋ぎ止めない、その経験はふわっと飛んで行ってしまいます。

最後になりますが、運営セクションの皆さん、本当にこの半年間ありがとうございました。皆がそれぞれやるべきことを考え、行動してくれたおかげで、大きな混乱もなく最高の形で会議を終えることができたと思います。また顧問の宮坂先生、室崎先生、そして事務局の方々、どの場面においても常に頼もしい存在であり、大変助けられました。ありがとうございました。

高1のAJEMUNから始まり、最後にAJEMUNの運営という形で終わって本当に幸せな模擬国連人生でした。この素晴らしい大会を毎年開催するために尽力してくださっているすべての方々に、改めて感謝の気持ちを示したいと思います。皆様、本当にありがとうございました！

広報セクションリーダー 公文国際学園高等部2年 飯島のの香

こんにちは、広報セクションリーダーを務めさせて頂いた公文国際学園高等部の飯島のの香です。

今年の広報セクションはホームページの作成と運用、公式SNSの運用、閉会式で流したエンディングムービーの作成を行いました。今年は大使の皆さんが会議に集中できるように円滑な情報提供やAJEMUNの認知度の向上と参加者の増加を目標に活動を行ってきました。ホームページは例年とデザインを一新し、模擬国連を知らない人もAJEMUNに参加しやすいようにポップなデザインにしました。また、今年のSNSは認知度を高める為にInstagram、X、YouTubeの3つを運用しました。来年の大会に向けて新しい情報も掲載する予定ですので、まだご覧になっていない方は確認して頂けると嬉しいです。エンディングムービーについては当日の会議中に撮影と編集を行いました。大使の皆さんは撮影にご協力頂き、有難うございました。

春から実行委員の活動が始まり、セクションのMTGを毎週末に行い、積極的にコミュニティ内の会話を増やす事によって、セクションの各メンバーの強みを活かすことが出来たと思います。当日の撮影やエンディングムービーはギリギリに完成するかもと常に心配していましたが、事前のテンプレート作成やセクションのメンバーの頑張りもあった甲斐もあり、落ち着いて納得出来る動画を完成させる事が出来ました。

最後に、AJEMUN2024に大使として参加して下さいだった皆さん、協力して下さいだった先生方、事務局の方、一緒に模擬国連を作り上げてくれた実行委員の仲間達にもう一度感謝をしたいと思います。本当に有難うございました。皆さんにとってAJEMUNが夏の最高の思い出になっていたら、嬉しいです。また、来年もAJEMUNで皆さんとお会いしましょう！

第8回大会概要

大会名 : 第8回全国高校教育模擬国連大会 (AJEMUN)
開催日時 : 2024年8月6日(火)・7日(水)
開催場所 : 国立オリンピック記念青少年総合センター
開催方法 : 対面での会議
議場方式 : ハーバード形式 (全日本高校模擬国連大会と同じ方式)
議題 : 保健医療
使用言語 : 日本語
参加費 : 3000円/人
主催 : 全国中高教育模擬国連研究会 (全模研)

【大会スケジュール】

1日目: 8月6日(火)		2日目: 8月7日(水)	
9:45	開会式	9:20	会議再開
10:45	会議開始	11:45頃	昼食
12:30頃	昼食	13:20	DR提出
15:15	WP提出	15:15	会議終了
16:45	会議終了・諸連絡	15:45	閉会式

【基調講演】

詫摩 佳代 (たくま かよ) 氏
慶応義塾大学法学部教授

〈プロフィール〉

広島県生まれ。東京大学を卒業後、東京大学大学院総合文化研究科国際社会科学専攻(博士課程)単位取得退学。博士(学術)。東京大学東洋文化研究所助教、東京都立大学法学部教授、フランス国立社会科学高等研究院訪問研究員等をへて、2024年4月より現職。2016年G7伊勢志摩サミットに向けたグローバルヘルス・ワーキンググループメンバー等を務めた。

国際政治学、国際機構論をご専門とされ、著書に『国際政治のなかの国際保健事業——国際連盟保健機関から世界保健機関、ユニセフへ』(安田佳代、ミネルヴァ書房、2014年)、『人類と病——国際政治から見る感染症と健康格差』(中公新書、2020年)等がある。



受賞者一覧

受賞者一覧（一般議場）

【A 議場】

最優秀賞

Russian Federation	浅野高等学校	茂木 夏希・難波 壮太
--------------------	--------	-------------

優秀賞

Panama	海城中学高等学校	田村 悠貴・田口 尋一郎
--------	----------	--------------

優秀賞

Dominican Republic	渋谷教育学園幕張高等学校	亀川 紗綾子・藤木 陽世
--------------------	--------------	--------------

実行委員特別賞

Uzbekistan	海城中学高等学校	佐本 一樹・佐藤 圭悟
------------	----------	-------------

【B 議場】

最優秀賞

Tuvalu	渋谷教育学園渋谷高等学校	小島 杏里・岡田 貴子
--------	--------------	-------------

優秀賞

Mongolia	渋谷教育学園幕張高等学校	西川 よつば・富山 美咲
----------	--------------	--------------

優秀賞

Colombia	海陽中等教育学校	浅野 晋伍・秋山 晃史郎
----------	----------	--------------

実行委員特別賞

China	海城中学高等学校	秋田 王光・南部 航希
-------	----------	-------------

【C 議場】

最優秀賞

Nigeria	海城中学高等学校	富澤 蒼太・角田 俊明
---------	----------	-------------

優秀賞

Mongolia	浅野高等学校	久保田 義弘・中田 侑之介
----------	--------	---------------

優秀賞

United Kingdom	渋谷教育学園幕張高等学校	佐川 心埜・三宅 結衣
----------------	--------------	-------------

実行委員特別賞

Ethiopia	公文国際学園高等部	足立 りお・伊東 香帆
----------	-----------	-------------

受賞者一覧（初心者議場）

【D 議場】

最優秀初心者賞

Türkiye	水城高等学校	掛札 凱斗・藤井 新之助
---------	--------	--------------

優秀初心者賞

Algeria	帝京高等学校	鈴木 杏那・石口 愛子
---------	--------	-------------

優秀初心者賞

Indonesia	鹿児島情報高等学校	高木 璃瑚・濱畑 和花
-----------	-----------	-------------

実行委員特別賞

Papua New Guinea	東京工業大学附属科学技術高等学校	酒井 大和嘉・小田切 碧生
------------------	------------------	---------------

【E 議場】

最優秀初心者賞

Kiribati	立教女学院高等学校	田中 佐来・白鳥 更紗
----------	-----------	-------------

優秀初心者賞

Papua New Guinea	国際基督教大学高等学校	山内 康太郎・柴田 真聖
------------------	-------------	--------------

優秀初心者賞

Colombia	お茶の水女子大学附属高等学校	弓木 玲奈・三部 香実
----------	----------------	-------------

実行委員特別賞

Chad	山形県立山形東高等学校	佐藤 恭佳・奥山 航成
------	-------------	-------------

【F 議場】

最優秀初心者賞

Saudi Arabia	水城高等学校	小野瀬 颯・大森 椋葉
--------------	--------	-------------

優秀初心者賞

Chile	清教学園高等学校	中畠 さくら・森島 芽生
-------	----------	--------------

優秀初心者賞

Kenya	岐阜県立岐阜高等学校	石塚 暉久・葛谷 有慧
-------	------------	-------------

優秀初心者賞

Rwanda	お茶の水女子大学附属高等学校	井上 友那・土橋 みゆう
--------	----------------	--------------

実行委員特別賞

Suriname	中央大学杉並高等学校	萩原 育斗・中山 貴美子
----------	------------	--------------

議場講評・受賞者コメント

A 議場

【フロントより】

浅野高校 2年 高橋 至
ユナイテッドワールドカレッジアトランティック高等学校 3年 山内 琴絵
渋谷教育学園渋谷高等学校 2年 斉藤 央
公文国際学園高等部 2年 廣川 晴

皆様、AJEMUN の A 議場において議長を務めさせていただきましたこと、大変光栄に思っております。まず、2 日間の会議、お疲れ様でした。議場の進行を間近で見ることができ、皆様の議論に対する真摯な姿勢を拝見できたことに、深く感謝申し上げます。

A 議場における議論は、非常に活発で充実しており、その成果として対立 DR が提出された結果、最終的には DR.1 が可決されたことが印象的でした。このような結果を得られたのは、皆様が会議前にしっかりと準備をしてきた賜物であり、議論の深さや質の高さがその証拠であると感じました。

特に、初回のアンモデおよびモーションの段階では、大きな声で活発な発言が飛び交い、議場全体が一体となって議論を進める姿が見受けられました。日本語という共通の言語での会議ということもあり、ニュアンスを含めた細かい点まで議論が行き届き、全ての大使が積極的に貢献しようとする姿勢が見られたことは大変素晴らしかったです。

また、公式発言においてはユーモアを交えたスピーチや、実際の数値を用いた具体的な発言が多く見受けられ、議場の雰囲気や和ませつつも、議題の本質に迫る発言が行われていたことに感心しました。こうした発言の多様性が、議論の質を高め、より多くの視点からの意見交換を促進したことと思います。

議長提案のモデを有効に活用し、初回のアンモデからスムーズにグループに分かれて議論を始めることができたのは、議場の進行にとって非常に良いスタートでした。グループ内での議論も丁寧に進められ、各国の意見をしっかりと聞く姿勢が見られました。これにより、全ての大使が議論に貢献しやすい環境が整えられたことが、議場全体のパフォーマンス向上に繋がったと感じます。

一方で、時間管理については少し甘かった点がありました。今後の議論においては、時間配分にさらに注意を払い、効率的かつ包括的な議論を心掛けていただければと思います。議場の進行がスムーズであっただけに、時間の使い方がより重要になるかと思います。

全体として、大きな揉め事や論点のずれもなく、無事に会議を終えることができたことを嬉しく思います。皆様の協力と熱意が、議場の成功に大いに寄与したことに感謝申し上げます。今後もこの経験を生かし、さらに高いレベルでの議論ができるように努めていただければと思います。

総じて、A 議場は非常にレベルの高い議論が繰り広げられた場であり、皆様の今後のさらなる活躍を心より期待しております。引き続き、皆様のご健闘をお祈り申し上げます。

【最優秀大使コメント】

Russian Federation 大使 浅野高等学校 茂木 夏希・難波 壮太

A 議場でロシア大使を務めました浅野高校 2 年の茂木夏希と難波壮太です。まず、共に熱い議論を交わした議場の大使の皆さま、そして大会運営に携わってくださった実行委員の皆さま、顧問の先生方に心より感謝申し上げます。

始めに、茂木から今大会の感想を述べさせていただきます。

「今回の会議では、議題の性質上、各国が協力して問題解決に取り組むことの重要性を準備段階から強く意識していました。初日の終わりには、各グループ間に明確な対立点はなく、議場全体でコンセンサスを目指すという点で一致していたため、最終的に提出された 2 つ

次に、難波からは模擬国連という活動について、お話させていただきます。

最後に、AJEMUN は模擬国連の面白さや様々な人との交流の楽しさに気づかせてくれる最高の機会です。この貴重な機会を提供してくださった方々に改めて感謝申し上げるとともに、模擬国連を引退する日まで悔いのないよう全力で駆け抜けたいと思います。皆さんとまたどこかでお会いできることを楽しみにしています。



A 議場の皆さん

B 議場

【フロントより】

渋谷教育学園渋谷高等学校 2 年 菅野 絃子
海城中学高等学校 2 年 阿部 潤太
国際基督教大学高等学校 2 年 廣野 遙信
三輪田学園高等学校 3 年 重岡 芽生
議長/会議監督 菅野絃子

B 議場では初日の段階からコンセンサスに向けて多くの大使が行動していて素晴らしいかったです。コンバインの方針を定期的に話し合ったり相違点を早い段階から洗い出したりしていたからこそコンセンサスが成功したのだと思います。その一方で今後の会議では「コンセンサスと国益のバランス」をさらに意識してほしいです。今会議で皆さんが同意の重要性を掲げた結果、特に論点 2 に関する妥協、そしてそれに対して賛同し兼ねるような様子的大使が多く見受けられました。自国を背負っている大使として国益を守ることが会議の大前提です。国益を犠牲にするまで国際合意が重要なのかをもう一度考えていただきたいです。

2 日間お疲れ様でした！

議長/会議監督 阿部潤太

今回は「薬剤耐性菌への対応」というとても高度な議題だったと思います。そんななかでも B 議場のみなさんは初日から活発な議論を行っており、対話を重視している素晴らしい議場でした。特に論点 2 における WHO の権限拡大は大きな対立点であったと思いますが、最終的に全ての DR がコンセンサスで採択されたことは、みなさんの努力の成果だといえるのではないのでしょうか。このような成果を得ることができたのは、皆さん一人一人の協力の賜物です。それぞれが異なる意見や立場を持ちながらも、共通の目標に向かって妥協点を見出し、建設的な対話を続けたことが、この議場の成功に繋がりました。 みなさん、本当に準備期間も含め、お疲れさまでした。

副議長 廣野遙信

自分自身、今回はじめてのフロントで 不安もありましたが、無事大きなトラブルなく会議を終えることができてうれしく思います。2 日間通してアンモデでは、非常に活発に相手のことを尊重しながら、怒鳴ったりすることなく冷静に議論ができていました。 また、最初のモデや WP の質疑応答でも多くの国がプラカードを挙げて発言していて、積極的に会議に貢献しようという姿勢が見られました。その結果、2 つの DR がコンセンサスで可決されたことは素晴らしい結果だと思います。1 つ残念な点を挙げるとするならば一日目に WP が 1 つ不受理となってしまうしました。時間をもっと意識して文書作成に取り組めていれば防げたことであっただけに非常に残念です。模擬国連だけでなく、与えられた時間を守るとは非常に重要ですから、もう少し時計に気配りをできると良かったと思います。皆さん、本当にお疲れさまでした。

秘書官 重岡芽生

初めて運営とフロントを担当させていただきました。フロント側から見た限り、初日から大きなトラブルもなく、交渉は順調に進んでいたように感じました。1 日目は、各大使がグループ内での話し合いに重点を置き、2 日目には、外交を通じて DR 採択に向けた各グループ間の綿密な交渉が行われました。その結果、最終的には 2 つの DR がコンセンサスにより採択され、この 2 日間の会議が B 議場全体で一丸となって作り上げられたものだと強く感じました。模擬国連では、提出時間内に全ての参加国の合意を得るために対話を重ね、場合によっては最低限の妥協が求められます。この点を守るか守らないかで、決議の結果に大きな違いが生じることでしょう。今後の会議では、そこも含めて臨んでいただけたら幸いです。改めて 7 月あたりからの準備、そして会議 2 日間ほんとうにお疲れ様でした。

【最優秀大使コメント】

Tuvalu 大使 渋谷教育学園渋谷高等学校 小島 杏里・岡田 貴子

ツバル大使を務めました、渋谷教育学園渋谷高等学校の岡田貴子と小島杏里です。始めに、会議を可能にしてくださった運営の皆様、先生方や大使の皆様に感謝申し上げます。

今会議、私達が一大使として意識した事は「一步を着実に」です。

保険ガバナンスは従来対立が入り組んでいます。薬を買う経済力はあっても法が未発達な新興国や、AMR 以前の医療問題を抱える小島嶼開発途上国。実際、私達の担当したツバルは病院が一棟のみ、50 年で島の半分が沈むと言われる国です。薬剤耐性菌の規制、そしてそもそもの医療状況において各国は全く違うステージにいます。

しかし、目指すところは皆同じです。利害が対立する中、共通の利益のもと着実な一步を踏むことはどの国にとっても重要です。私達は共通の目標がある限り協力できると信じ、諦めず真正面から交渉を続けました。「Leave no one behind」の精神のもと、最後はコンセンサスで2つの決議を通すことができました。

会議に臨むにあたり不安はありました。初のペアだったということ。しかし、リサーチ中は理想の会議像を語り合い、会議中も必要な時はその都度今後の展望について共通認識を合わせ、常にペア間でも歩み寄りを怠りませんでした。

模擬国連は特殊な競技です。サッカーの様なシュートやアシストはありません。DR を完成させる事すら、会議の本質ではありません。何が評価されるのか、何をめざす会議なのか、国のスタンスも大使によって違い、曖昧で不確実なのが模擬国連です。高校生の模擬国連に何を見出すのかは人それぞれですが、私達は今回、会議が心から本当に楽しかったと思えたことが一番でした。自分達が創り上げた信念や考えを全て議場に残し、最後まで全力で走り切った会議でした。そう思えるかどうかは一つの指標ではないでしょうか。

改めて、最後まで共に真剣に議論を交わしてくれた大使の皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。



B 議場の皆さん

C 議場

【フロントより】

渋谷教育学園幕張高等学校 2 年 高橋 咲希

渋谷教育学園渋谷高等学校 2 年 二井 春香

岐阜県立岐阜高等学校 3 年 橋本 昂志

公文国際学園高等部 2 年 菊地 里和

はじめに、大使の皆様 2 日間お疲れ様でした。両日通して議論が盛んに行われ、最後まで展開が予測できないような賑やかな会議だったと思います。

まず、事前準備について少し書かせていただきます。PPP は各大使がよくリサーチをされており、質がとても高かったと思います。また、NP はとてもはっきり主張が伝わる独創的な作品が多く、感動しました。しかし、これらに関して二点気になったことがあります。まずは、提出率。C 議場の提出率は 8 割にも達しませんでした。PPP はフロントにリサーチをアピールし、NP は議場に意見を発信する大きな機会だと思うので、今後はぜひ PPP・NP を忘れずに提出していただきたいです。もう一つの点は、各大使の NP 作りです。過激的な作品も多く、国連の大使として相応しいのか疑問に思う NP も多く見られました。必ず大使としての立場を優先し、それに沿った振る舞いを考えて行動するとより良い会議になったと思います。

また、会議当日は議論も活発で、どこのグループを見てもワクワクするような光景でした。議論がとても円滑に進んだグループもあれば、大使間の主導権争い等のもと不安定な状況にあったグループもありました。その中でも各グループの状況やスタンスをお互い理解し、早い段階から「誰一人取り残さない」議場を作ろうとしていた各大使の姿勢は素晴らしいと思いました。外交会議だけに頼らず二国間で各グループのコンバイン交渉を行い、会議終盤までどこのグループがコンバインするのか予測できない議場で、協力に積極的な議場で感動しました。

しかし、その中でも、自グループ内の他の大使の意見を安易に聞き捨てる行動が時々見られました。各大使の発言する権利は公平を前提としていて、国益を最優先すべき国連の議論において各大使の発言はより尊重されるべきです。そういった点で、議場の他の大使の行動や発言に対して俯瞰できるようになると他大使との軋轢も減り、評価も向上すると感じました。

最後に、大使の皆様は今回の会議を通して今後意識していただきたいのが、「自国の大使」という立場です。もちろん、知り合いが多く参加している議場だったとしても他の大使を本名やあだ名で呼び合うことはふさわしくありません。また、AJEMUN という規模の大きな大会では多くの大使が入賞を一つの目標として参加し、多くの大使の議論に参加する態度はやや相手に対する礼儀にかけているように見受けられました。一国の大使として相応しい意識を持つとより秀逸な会議行動ができたと思います。

独創性と行動力が同時に求められる模擬国連を極めるのはとても難しいことです。しかし、このような中でも大使の皆様はベストを尽くし、より良い世界を築くことへの熱意とこだわりを感じました。全ての大使が今回の会議はディベートでなく、議論を行うことを優先できていたと思います。大変レベルの高い会議を見ることができ、フロントとしてとても幸いです。皆様の今後のご活躍を期待しております。

【最優秀大使コメント】

Nigeria 大使 海城中学高等学校 富澤 蒼太・角田 俊明

大使の皆さん、フロントの皆さん、海城グローバル部の仲間たち、そしてその関係者の方々本当にありがとうございました。2 日間 Nigeria 大使を務めさせていただいた海城高校 2 年の角田俊明と富澤蒼太です。会議を通して考えたことを外交と内政のそれぞれの立場から書かせていただきます。

会議中外交を務めました角田俊明です。会議 1 日目は、「議場把握」→「基本方針の決定」→「共通の支援文言の作成」、2 日目は、「コンバイン先の決定」→「国数把握」といった行

動をしました。外交の中で存在感を示せるようになったのは、「共通支援文言の作成」からだと思います。初日からずっと意識していたのは、「先進国といち早くコンバインする」ことです。自グループの内政が最も早く終わったことで、この目標の達成が出来たと思います。ここで、この会議を通じて感じた、模擬国連という競技について少し書かせていただこうと思います。

模擬国連は常に優しい、正しい人が評価される場とは言えません。特定の国やグループを孤立させたり、排斥したり、また都合の悪い情報を統制したり、嘘をついたりして交渉を有利に進めて、評価を得る場合もあります。そんな模擬国連に何度も打ちのめされてきました。それでも、思いやりの心を忘れずにいることが、今会議での成功に繋がったと思います。模擬国連が、意見が対立する国同士だとしても、お互いの大使が納得して会議を終えられるものであってほしいと願っています。

ここからは僕（富澤）が続きを書かせていただきます。僕は内政なのでその目線で本文章を書いていることご容赦ください。僕からは模擬国連の中で大切だと思うことを書かせていただきます。

突然ですが僕の尊敬するプロ棋士である羽生善治先生の七冠達成時の揮毫に泰然自若というものがあります。これは僕の座右の銘でもあり、この言葉を念頭に入れて常に僕は行動をしています。これを踏まえると僕は模擬国連は議論が白熱しつつも冷静さを保ち続けた大使が評価されると思います。つまりは意見が対立した時に相手の意見を否定するのではなくて妥協案を探る、議場全体を見渡してより有意義なコンバインを考える、議論に取り残されている人を作らないなど様々なことを意識的に行い続けた大使が評価されるということです。幾度も聞いたことがあるかとは思いますが模擬国連はディベートとは違います。議論の中で相手を自分の意見でねじ伏せるのではなくて相手に歩み寄り交渉をしていくものです。僕がこの言葉を活かすまでには長い時間がかかってしまいましたが非常に重要だと思っています。冷静でいること、相手に歩み寄ることの2つは必ず今後の模擬国連、ひいては社会人になっても生きてきます。模擬国連の魅力がより多くの人に伝わることを願っています。乱文長文失礼しました。

最後に改めまして、2日間本当にありがとうございました。また何かの機会にお会いできることを楽しみにしています。



C 議場の皆さん

D 議場

【フロントより】

渋谷教育学園幕張高等学校 3 年 橋本 照一郎
群馬県立中央中等教育学校 2 年 小松 美羽
清教学園高等学校 2 年 久保 あいり

皆さん、2 日間お疲れさまでした。D 議場のフロントとしての講評を以下に記させていただきます。

会議全体を通じて、自国のトップ・ボトムラインの意識を貫くことができた大使が多いように見受けられました。冒頭の、重要視する政策とグルーピング案を共有するモデレーテッドコーカスは、議論を円滑に進める土壌形成に役立ったように感じます。アンモデレーテッドコーカスの開始後は、序盤から議場をリードする大使の存在が光りました。初心者議場ということで雰囲気呑まれ戸惑う大使も多い中、率先して議論をまとめようと奮闘する姿は大変頼もしかったです。初期のグルーピングは地域と重視論点とで二極化していましたが、次第に議場全体での協力がなされていきました。政策へ原点回帰する行動が見られたことはフロントとして非常に嬉しく感じました。最後に、議場全体の把握のための緻密な連携力を発揮する大使が複数名いたことが、初心者議場ながら素晴らしいクオリティの DR を提出できた一因かと思います。

D 議場は、初心者議場とは思えないほどの活気がありました。Motion を出す時、アンモデレーテッドコーカス時、WP や DR に対しての質疑応答時など、それぞれの大使が積極的に他の大使と話し、議場はとても良い雰囲気でした。初めは話し合いに参加できていない大使も見受けられましたが、時間が経つにつれてそのような大使も少なくなり各々ができることを見つけて行動していました。自国のトップラインを達成すべく、利害不一致の場合にグループを解散させるなど、臨機応変に対応していた大使も見られました。大使同士で議論を重ね、不鮮明な部分を解決し全大使が納得のいく状態で成果文書を作成しようとする姿は素晴らしいかったです。WP では前文に過去の想起文章の欠落や主文・枝文の書き方など体裁の不備がありましたが、2 日目にはそれらを修正しより良くされた DR が提出されました。大使の皆さんは、いつもフロントからのアナウンスに耳を傾け、アドバイスをよく聞きすぐに改善してくださいました。ひとりひとりの行動が D 議場という場を素敵なものにしてくれたのだと確信しています。

最後に、フロントから少しばかりアドバイスをさせていただきます。まず、会議直後にも申し上げた通り、2 日間を通じて議論に入りきれていなかった大使が多数見受けられました。グループの議論を仕切っている「リーダー」には、必ず全員が議論に参加できるよう気を配る責務があると私たちは感じています。グループの大使がしっかり円をつくり、全員がお互いの顔を見ながら議論できる、かつ、どの大使にも平等な発言権が与えられるような環境の整備がなされるとなおよかったと思います。また、今回の会議において、議場の状況を整理し次の流れを決定する「外交」が不足していたように感じます。外交が最初から機能することで、会議序盤に見られたグループの乱立や DR 提出の段階におけるスポンサーのトラブルも防げたと考えます。

2 日間を通して、皆さんのポテンシャルの高さにフロント一同感心させられました。今回の会議が楽しい思い出として残るのと同時に、皆さんの今後の成長の糧になることを願いつつ、フロントからの講評とさせていただきます。

本当にお疲れさまでした。

【最優秀初心者大使コメント】

Türkiye 大使 水城高等学校 掛札 凱斗・藤井 新之助

今大会 D 議場でトルコ大使を務めさせていただいた、水城高等学校の藤井新之助と掛札凱斗です。初めに、大会運営に尽力して下さった実行委員会の皆様や先生方、そしてともに熱い議論を交わした D 議場の大使の皆様に感謝申し上げます。

私たちにとっては3年生で初の模擬国連体験であり、不安も多くある中での参加でした。経験豊富な他国大使の方々に負けないよう、積極的に議論に入ること、そのために自国や議題に関する情報を十分把握することを意識して、大会に臨みました。

本会議のテーマは「保健医療」というコロナウィルスを始めとする現代の事情を反映したものであり、政策の決定に至るまで都市封鎖や貿易などの経済的な観点から各国の利益が絡み合い、各国の大使がなかなか一つにまとまらず、改めて国際協調の難しさや各国の利害関係の複雑さを感じました。そんな中でも各国の大使と積極的に議論をし、スタンスが違う大使とも対立するのではなく、相手の理論と自分の理論の共通点を見つけ出しお互いが譲歩できるような議論になるように意識しました。しかし、会議では積極的な議論を展開できましたが、反省点も多くあります。例えば、D議場では最終的に2つのDRが提出されましたが、内容はほとんど同一で主要な論点に関しては一致していました。もっとコンバインに向けできたことがあったように思います。ですが、今回の模擬国連を通して私たちは参加前から参加後まで多くの学びを得ることが出来ました。自国について緻密な調査をし、WHOなどの国際機関についても調べ、また多くの人と議論を重ね、結論を導き出したこの経験はとても貴重なものです。

また今大会は模擬国連としての経験に限らず、日本各地の同世代の皆様と交流できた経験としても非常に有意義でした。関わってくださった皆様、本当にありがとうございました！AJEMUN 最高！！！！



D議場の皆さん

E 議場

【フロントより】

帝京高等学校 3 年 松浦 唯夏
神奈川県立厚木高等学校 2 年 二角 莉央
茨城県立竹園高等学校 2 年 尾暮 敦子

E 議場フロントはそれぞれの視点から講評を申し上げたいと思います。

スピーチでは、多くの国が積極的に発言し、各国の主張が明確で高レベルな内容が際立っていました。公式討議という場は、全ての大使の前で自国の意見を直接伝えられる唯一の機会です。従って、聞き手の興味を引くようなスピーチを心がけると、さらに良いスピーチができると思います。モデでは各国大使の皆さんが全ての時間を使って発言を行っていた点は良かったと思います。しかし、多くのグルーピング案を提示した結果、アンモデが始まった際に多くの大使が混乱している様子が目立ちました。モデの段階で「どのグルーピングにするか」を決めておくと、滞りが少なくスムーズに議論ができたと思います。また、アンモデ中の全体的な元気のなさが印象に残りましたが、2 日目にかけて声量や動きが活発になったため、今後の会議では初日からこのような積極的な姿勢で臨むことを期待しています。

WP 作成段階では、重要政策ごとに複数の小規模なグループを形成し、互いの意見を丁寧に聞き入れながら前向きに議論する姿が印象的でした。その後の丹念な外交も実を結び、最終的に幅広い対応が検討された 2 つの DR が採択されたことは本当に素晴らしい成果です。しかし、投票の際に棄権がやや多い印象を受けました。特に DR.2 には 3 割弱の国が棄権票を投じる結果となりました。棄権は本来、政治的にやむを得ない理由で行われるものですが、中には DR に対する十分な理解を得られず「決めかねている」「どちらでもない」という理由で棄権してしまった大使もいらっしゃるかもしれません。DR 提出時点でスポンサーであったかどうかに関わらず、採択された決議には全加盟国が責任を負います。今後はぜひ、議場全体の視野を持った外交にももっと挑戦し、共通した目標意識のある決議案作成を目指してみてください。

また、文書の体裁に関しても、初心者議場らしいミスが多かった WP から前日のミスを多くカバーして DR の提出までこぎつけた大使の皆さんの奮闘と根気には深く感動させられました。その上でアドバイスできる点は、会議書類の読み込みについてです。皆さんの主な必読書類である会議細則とルールブックには、会議の大筋から WP、DR の体裁についてまで、大切な情報が幅広く載っています。しかし皆さんから提出された WP、DR では、使うべき動詞が使われていない、スポンサー国が正しい位置に書かれていないなど、ミスが多く見受けられました。文書の体裁は、初歩的でありながら文書自体の受理不受理にかかわる重要なポイントです。資料を理解するまで読み込み、文書だけに限らず会議についての知識を万全に準備すれば、今回のような皆さんの充実した会議がより洗練されたものにグレードアップすると信じてやみません。

皆様と 2 日間をともに過ごせたことを大変嬉しく思います。本当にお疲れ様でした！

【最優秀初心者大使コメント】

Kiribati 大使 立教女学院高等学校 田中 佐来・白鳥 更紗

今回、E 議場で Kiribati 大使を務めさせていただいた立教女学院高等学校 1 年の白鳥更紗と田中佐来です。まず初めにこの議場を作り上げてくださったフロントをはじめとする運営の皆様、また 2 日間にわたりともに濃い時間を過ごした大使の皆様に心から感謝申し上げます。

私たちがこの会議で特に意識したことは「周りに流されない」ことです。もちろん模擬国連は自国の国益だけでなく国際益も考慮しながら会議を進めるため、多少の打算は必要になるでしょう。しかし、周りの意見に流され自国の意見を主張することができなければ、ここでしか体感することのできない独特の空気感についていけなくなってしまいます。よって、自分たちの芯をしっかりと持ち積極的に会議に参加することを目標に掲げました。

今回の模擬国連で私たちキリバスは初日の WP、二日目の DR とともに提出することができました。私たちは、二人であらかじめ内政外交の担当を決めていたため、内政担当が我々のグループの決議案をしっかりと固めつつ、外交担当は同じグループの外交担当の方々と協力しスムーズに交渉を進めることができました。また、私たちだけではできないことを他国の大使の方々が積極的に行ってくださったおかげでグループ内の緊張もほどけとても良い雰囲気です。初日を終えることができました。二日目は DR の作成に重きを置きながら他国の勧誘を進めて行きました。危うい場面もありましたが、外交担当が力を発揮し内政に回っていた人も外交に回る余裕が生まれたことで見事過半数のスポンサー国を集め DR を提出することができました。結果的に全会一致による採択はかないませんでしたが、他国との協力のおかげでとても良い DR を作成することができたと思っています。

大会経験の浅い私たちがこのような素晴らしい賞を受賞させていただけたのは、同じグループの方々に沢山支えていただき、また刺激を受けたからだと思っています。今大会の経験や出会いを大切に、次に生かしていきたいです。

改めて二日間貴重な経験をありがとうございました。



E 議場の皆さん

F 議場

【フロントより】

渋谷教育学園渋谷高等学校 2 年 仲村 紗英
昭和女子大学附属昭和高等学校 3 年 高木 菜々子
麻布大学附属 3 年 下田 有紗
茨城県立竹園高等学校 2 年 潘 頤萱

・議長 1 より

グルーピングの全てはアンモデが始まった瞬間の大使の爆発力と大声が握っている。そう言っても過言ではない中で大使の方々がアンモデ開始直後に取ったのは完全な着席アンモデでした。たいてい誰かしらが立つその状況で皆さんが一国の話を真剣に聞いている光景は忘れられません。今後の会議で勢いにのまれないことを祈っています。

初心者議場の大使の積極性に不安を抱きながら準備を進めましたが、ほとんどの国のスピーチを聞けてよかったです。

ルールブックを片手に懸命に文言を書く人、WP 提出 30 分前に WP を書くには PC が必要なことに気づいたグループ、そしてほとんどの人が交渉の手法を熟知していない中生み出される外交会議。議場のどこに立っていても手探りで議論を進めていく大使を感じられ、初心を思い出させてくれました。

みなさんにとっての AJEMUN が夏の思い出の 1 ページとなり、今後も模擬国連を続けようと思える大使が 1 人でも増える手助けになればこれほど運営として嬉しいことはありません。

・議長 2 より

着席アンモデが始まった瞬間、正直ドキッとしてしまいました。それは、意見を言わずに終わってしまう大使や、言われるがままに動いてしまう大使が出てしまうのではないかと、せっかくの機会を無駄にはしてほしくないという思いからでした。模擬国連の目的は、自国の主張に従う国を増やすことではありません。国益と国際益の両方をぶれない軸として持ちながらも、率先して他国の意見を引き出し、共通点と相違点を見出しながら、時には譲歩し、柔軟な対応ができる大使こそが、会議で輝く存在なのだと思います。全ての大使が違いを越えて、大きなビジョンを共有することで、世界に平和が少しずつ築かれていくのだと私は信じています。

またいつか、どこかの議場でみなさんとお会いできることを楽しみにしております。

・会議監督より

大使の皆さんが会議室に入ってきた時、模擬国連に携わることが初めてであった私は、どのくらい白熱するのかな、皆さんどれくらい本気なのかな、と落ち着かなければならない監督の立場ではありつつ緊張していました。1 日目の午前中にアンモデがなかったことは正直焦りましたし、このまま少し消極的な雰囲気では会議が進行して、WP がまとまりきらなかったら、模擬国連という一連のプロセスが成立しなかったら、と監督視点での不安がありました。しかし、午後からの 3 回にわたるアンモデでは、緊張のほぐれた様子が見受けられ、筋の通った話し合いをしていて、安堵したのを覚えています。そして 2 か国の大使たちが目を輝かせて走りながら私に DR を提出してきた時には、1 日目の不安などどこにもなく、本気度と興奮をぶつけてくれたことに感激しました。

この会議が皆さんにとって、世界に興味を持ち、私たちが担うこれからの国際社会に興味を持つきっかけとなったことを切に願っています。

【最優秀初心者大使コメント】

Saudi Arabia 大使 水城高等学校 小野瀬 颯・大森 棕葉

第 8 回全国高校模擬国連大会で F 議場のサウジアラビア大使を務めた、小野瀬颯と大森棕葉です。

まずこの大会に携わっていただいた運営の皆様、そして F 議場でともに議論を交わした大使の皆様に心より感謝申し上げます。

私たちは一日目の前半のスピーチを理想としていましたが、かなわなかったため非公式討議でどれだけ動くかが自国の最重要政策を WP や DR に反映させることにつながるとペアで確認しあい、アンモデレーテッドコーカスでは NP や公式討議、モデレーテッドコーカスでスタンスが近いと明らかになった国々に声をかけていきました。私たちの議場は、モデレーテッドコーカスの際のグルーピングが円滑であったとはいえない状況だったため、アンモデレーテッドコーカスで少し強引に会議を動かし、少しずつグループを大きくしていくという形をとりました。

去年の経験をふまえ、この 2 日間のために時間をかけ準備をして本番にのぞむことができたため、とても充実した時間になりました。

大会運営の皆様、そしてF議場で大使として参加していた皆様、重ねて感謝申し上げます。
本当にありがとうございました。

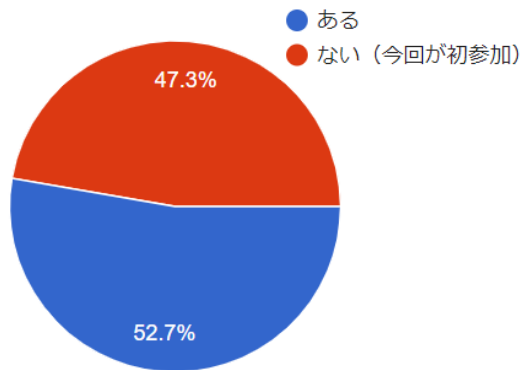


F 議場のみなさん

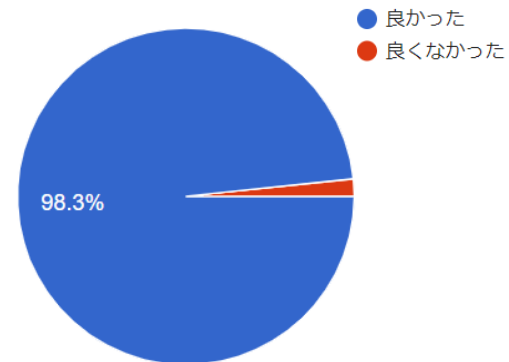
参加者アンケート

【参加者内訳】

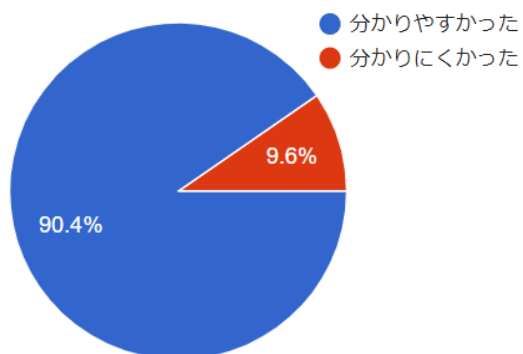
Q1 あなたはこれまでに模擬国連に参加したことがありますか？



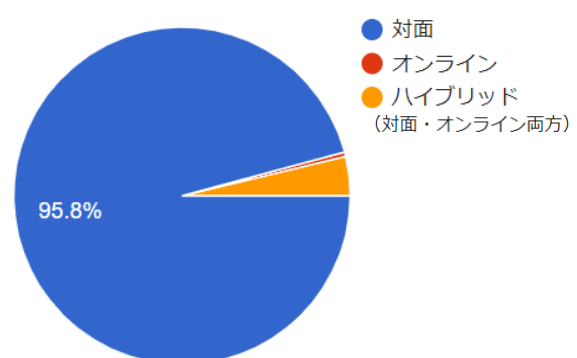
Q2 今大会に参加して良かったですか？



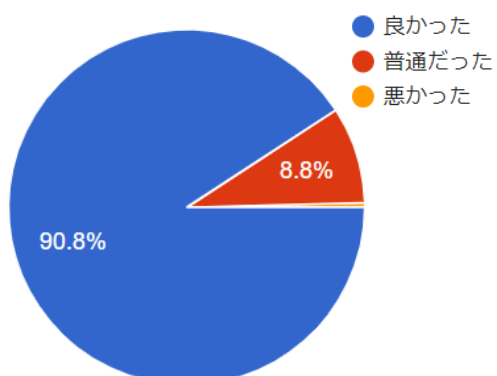
Q3 大会資料 (BG・会議細則・HP の情報など) は分かりやすかったですか？



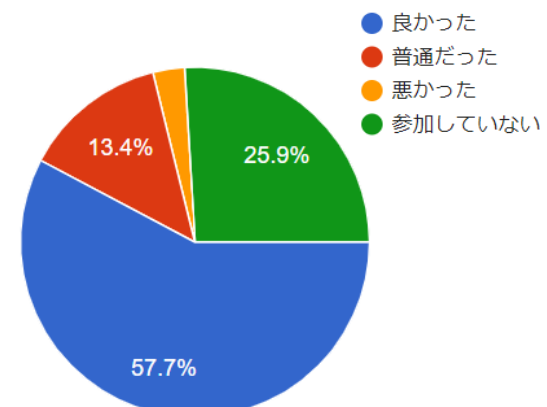
Q4 今後も AJEMUN は対面での開催がいいですか？



Q5 今大会の運営は高校生が実行委員となっていて行われていますが、実行委員の運営はどうでしたか？



Q6 交流会はいかがでしたか？



文章でのご意見編

【良かった点について】

- ・初心者議場ではフロントさんたちが優しく指摘や訂正、説明をしてくれたので初めて参加した大きい大会でしたが楽しくできました。
- ・実力別に会場が分かれると同じ初めての人と多く関わって良かったです。
- ・大使の皆さんが協力し、テキパキと文書を作ったら外交をしている姿を見て、尊敬しました。また、フロントの皆さんの的確な説明のおかげでわかりやすかったです。
- ・閉会式の動画など、楽しめる点が多かった！
- ・さまざまな地域の方々が集まっていて、多くの意見が飛び交ったにも関わらず、全員がお互いの意見と国際益を尊重して穏健に会議が進んだ点。
- ・普段はできない体験で、遠い存在だった WHO について詳しくなれ、自分の大きな学びになったこと。
- ・細かいルールなどが最初から決められていて、迷うことがなかったこと
- ・欲しいタイミングで、議長からのモデやアンモデの延長があつて、模擬国連がとてもスムーズに進んだのが良かったです。

【改善点や問題点について】

- ・最初開会式の場所が分からなかった
- ・大使が集まって話をする時のスペースが狭かったです。
- ・大使にはちゃんと BG とルールブック、会議細則を読んでもらいたいと思った。
- ・大会についての説明が対面であつたらもっと分かりやすかったです。
- ・会議の流れを過去の動画などで見れたらもう少しスムーズに行動できたと思います。
- ・国の発表をもう少し早めにしていただけると助かります！
- ・遠方から来ていて、食堂を使ったのでお昼休憩が短く感じた

【交流会について】

- ・今までにないくらい楽しかったし盛り上がりました
- ・様々な地域の同世代の人たちと交流することができて楽しかった。
- ・とても楽しめました。特に司会の方の運営が良かったので印象に残っています。
- ・今回の交流会のように自由度が高いと面白いと思う。
- ・もうちょっと時間が長くてもいい！
- ・人数が多く一人一人の声が聞こえづらかったように感じます。
- ・交流会では、同じ議場の人で集まって議論したいです。

【今大会に関する感想】

- ・楽しかったです！最高でした!!!!
- ・他校の生徒と交流すること自体が珍しいし、このような話題で対話するのは、とても良い経験になったと思います。
- ・学びしかないとても良い機会でした。たくさんの方が言うようにもう一度参加したいと思いました。反省点たくさんなのでリベンジしたいです！
- ・久々の会議で充実した時間を過ごすことができてよかったです！来年はぜひ運営として参加したいと思います。貴重な機会をありがとうございました。
- ・今までとは違ったベクトルのトピックについて議論をすることができて楽しかったです。ありがとうございました。
- ・初心者議場だったけれど、大使の方々が積極的に素晴らしい意見を言っていてとても感動しました。私もそんな大使さんを見て真似したいと思いました。
- ・悔しかった部分もあったが、自分の糧になるようなことを得られて、有意義な大会だった。
- ・去年のアジェムンは初めてだったのもあって誰にも話しかけられなくて、だけど今回ではちゃんと意見も自分から言えて、自分の政策もしっかりといれることができて、友だちもできて、自分の成長を感じました！

大会事務局長より

「論破」と「対話」

第8回全国高校教育模擬国連大会（AJEMUN）大会事務局長

公文国際学園中等部・高等部 米山 宏

この度は第8回全国高校教育模擬国連大会（AJEMUN）にご参加いただき大変ありがとうございました。昨年度に引き続き600名超の参加者があり、北は北海道から南は鹿児島まで約90校の学校が一堂に会しての大会となりました。関東地方では大会前からの連日の猛暑で参加大使の健康面を懸念しておりましたが、実際には大きな混乱はなく、無事大会が終了したことをご報告いたします。

今年の議題は「薬剤耐性菌への対応」でした。これはBG担当の実行委員も語っていたように、コロナというパンデミックを経験した私たちには非常にホットでタイムリーな話題だったのではないのでしょうか。模擬国連は国連における話し合いを模しているわけですから、全ての地球的課題を扱います。その議題の中には遠い国の想像もつかない出来事を扱わなければならない時もあります。すなわち詳細なリサーチが必要になるのですが、今回は、その課題についての世界の状況がある程度想像がつく、思い描くことができる議題だったはずです。コロナ禍では、あの国はこのような政策をとった、こちらの国はこうだったと現実の国々の施策を目の当たりにしているはずです。ですから自信をもって議論に参加できた大使も多かったことでしょう。ただし、自分が経験したことだから既知のことだから議論に参加しやすい、では模擬国連の醍醐味を味わい尽くせていません。模擬国連の意義がここにもあって、自分が経験したことがないことでも知らなかったことでもリサーチすることによって自分の中に知識を積み上げていく。それを可能とし、人としての付加価値を高めることができるのが模擬国連だと思っています。

さて、昨年に引き続き、今年も大会直後の新聞記事に触発されてこれを書いています。慶応大学法学部の山越修三教授の『「論破」のSNS文化 政治を侵食』という記事です。内容を抄出すると、「ネットにはもともと相手を言い負かすことを正義とみなす『論破』の文化があり、それがSNSを駆使する選挙でも見られるようになり、その非寛容性や排他性は現実社会に侵食し始めている。～中略～（SNSを駆使する選挙はますます浸透し）それは民主主義的な対話を難しくするだけでなく、米国で生じている社会の分断や陰謀論の蔓延とも地続きである。この問題を解決するには、異なる立場の声に触れ、耳を傾ける文化を涵養する必要があるが、その実現は容易ではない～以下略」と結ばれています。翻って模擬国連はどうでしょうか？模擬コッカーは常に非寛容的でなく、排他的でもなく、異なる立場の声にも触れ、耳を傾けて根気よく、地道に議論を重ねています。「論破」ではなく「対話」を重視する模擬国連という文化が異なる次元で普及し涵養されてゆくのなら山越教授の心配は杞憂に終わるはずだと思いませんか？

先日の閉会式での講評でもお伝えしましたが、今、私は至る所で「論破」と「対話」について持ちネタのように語っています。それは「対話」という時間を握り合う行為こそが模擬国連の本質だと感じているからです。ですから最後にその閉会式時の私の言葉を繰り返したいと思います。

「論破」と「対話」の関係は人間社会でも同じことのように感じます。意見対立時に相手を論破しようとすればただのケンカになりかねません。でも対話を試みようとするればお互いの妥協点が見つかるかもしれません。こうして対話による世界が広がれば、この世の中はもっと穏やかな住みやすい世界になるかもしれません。模擬国連を愛してやまない君たちと、そしてそれを指導する先生方の存在が日本の高校模擬国連を支え、そして世界を変えることにもなるかもしれません。ぜひみなさんの模擬国連の力で平和な穏やかな世界の構築に尽力して欲しいと思います。

最後にこの場をお借りして、大会にご協力いただいたすべての皆さま、協賛・後援・助成いただいた企業・団体の皆さま方に厚く御礼を申し上げます。ありがとうございました。これをもって今年の大会主催者代表としての私のご挨拶に代えさせていただきます。

参加校一覧

浅野高等学校	清教学園高等学校
伊勢崎市立四ツ葉学園中等教育学校	成蹊高等学校
市川高等学校	聖心女子学院高等科
茨城県立竹園高等学校	清泉女学院高等学校
江戸川学園取手高等学校	洗足学園高等学校
桜蔭高等学校	玉川学園高等部
追手門学院大手前高等学校	中央大学杉並高等学校
鷗友学園女子高等学校	帝京高等学校
大阪府立北野高等学校	帝塚山学院中学校高等学校
大谷中学・高等学校	田園調布学園高等部
大妻高等学校	東京工業大学附属科学技術高等学校
大妻多摩高等学校	東京女学館高等学校
お茶の水女子大学附属高等学校	東京都市大学等々力高等学校
海城中学高等学校	東京農業大学第一高等学校
海陽中等教育学校	東京農業大学第三高等学校
かえつ有明高等学校	栃木県立佐野高等学校
鹿児島情報高等学校	鳥取県立鳥取東高等学校
角川ドワンゴ学園 N 高等学校 S 高等学校	鳥取県立米子東高等学校
神奈川県立厚木高等学校	名古屋高等学校
神奈川県立希望ヶ丘高等学校	奈良県立国際中学校・高等学校
神奈川県立横浜国際高等学校	南山高等学校女子部
岐阜県立岐阜高等学校	新潟県立直江津中等教育学校
岐阜県立多治見北高等学校	西大和学園高等学校
共立女子中学高等学校	不二聖心女子学院高等学校
公文国際学園高等部	富士見丘高等学校
クラーク記念国際高等学校 CLARK SMART 千葉キャンパス	富士見中学校高等学校
群馬県立中央中等教育学校	武南高等学校
ぐんま国際アカデミー高等部	法政大学国際高等学校
佼成学園女子高等学校	松商学園高等学校
国際基督教大学高等学校	宮城県仙台二華高等学校
駒場東邦高等学校	三輪田学園高等学校
済美高等学校	森村学園高等部
酒田南高等学校	八千代松陰高等学校
札幌日本大学高等学校	山形県立山形東高等学校
実践女子学園高等学校	山形県立米沢興譲館高等学校
渋谷教育学園渋谷高等学校	山脇学園高等学校
渋谷教育学園幕張高等学校	横浜共立学園高等学校
嶋田学園飯塚高等学校	ラ・サール高等学校
十文字高等学校	立教女学院高等学校
淑徳高等学校	立命館高等学校
淑徳巣鴨中学高等学校	
松陰高等学校	
頌栄女子学院高等学校	
女子学院高等学校	
水城高等学校	
逗子開成高校	
	計 86 校

大会実行委員一覧

【実行委員長】

橋本照一郎（渋谷教育学園幕張高等学校）

【運営受付セクション】

川西 天（渋谷教育学園渋谷高等学校）
鹿野 栞成（市川高等学校）
廣畑 恋（神奈川県立横浜国際高等学校）
清水 結月（群馬県立中央中等教育学校）
阿部 慶（公文国際学園高等部）
田嶋 万桜（公文国際学園高等部）
金濱 凜（市立札幌開成中等教育学校）
前田 恋実（酒田南高等学校）

齋藤 愛姫（酒田南高等学校）
土井 裕美子（淑徳高等学校）
菊池 凜吏子（帝京高校）
藤川 さくら（田園調布学園高等部）
村田 桜彩（栃木県立佐野高等学校）
板垣 虎汰郎（茗溪学園高等学校）
成田 龍介（広尾学園高等学校）

【フロントセクション】

高橋 至（浅野高等学校）
下田 有紗（麻布大学附属高等学校）
水上 莉緒（大妻中野高等学校）
阿部 潤太（海城中学高等学校）
橋本 昂志（岐阜県立岐阜高等学校）
小松 美羽（群馬県立中央中等教育学校）
菊地 里和（公文国際学園高等部）
廣川 晴（公文国際学園高等部）
廣野 遙信（国際基督教大学高等学校）
菅野 紘子（渋谷教育学園渋谷高等学校）

斉藤 央（渋谷教育学園渋谷高等学校）
仲村 紗瑛（渋谷教育学園渋谷高等学校）
二井 春香（渋谷教育学園渋谷高等学校）
高橋 咲希（渋谷教育学園幕張高等学校）
高木 菜々子（昭和女子大学附属昭和高等学校）
久保 あいり（清教学園高等学校）
松浦 唯夏（帝京高等学校）
重岡 芽生（三輪田学園高等学校）
山内 琴絵（ユナイテッドワールドカレッジ
アトランティック高等学校）

【BG 担当】

尾暮 敦子（茨城県立竹園高等学校）※フロント兼任
潘 頤萱（茨城県立竹園高等学校）※フロント兼任
二角 莉央（神奈川県立厚木高等学校）※フロント兼任
本田 彩珠（渋谷教育学園幕張高等学校）

【広報セクション】

飯島 のの香（公文国際学園高等部）
飯島 舞（田園調布学園高等部）
歌崎 智哉（帝京高校）
楠本 千紘（東京インターハイスクール）
松本 千明（三輪田学園高等学校）

***太字はセクションリーダー

【大学生サポートスタッフ】

川口 実紅（上智大学1年）
榊田 啓太郎（上智大学1年）
和田 大輝（慶應義塾大学1年）
笹尾 佳音（東京大学1年）
澤田 碧砂（Columbia University 大学院）
松村 知樹（東京大学4年）
藤森 郁子（東京大学4年）



大会役員一覧

【大会事務局長】

米山 宏（公文国際学園中等部・高等部）

【運営受付セクション】

宮坂 武志（浅野中学・高等学校）

室崎 摂（渋谷教育学園渋谷中学・高等学校）

後藤 芳文（玉川学園高等部）

内山 美穂（三輪田学園高等学校）

【フロントセクション】

齋藤 智晃（渋谷教育学園幕張中学・高等学校）

松永 啓佑（市川高等学校）

関 考平（大妻中学高等学校）

末廣 彬（帝京中学校・高等学校）

飯島 裕希（お茶の水女子大学附属高等学校）

藤山 由彦（駒場東邦中学・高等学校）

澤田 宏（岐阜県立岐阜高等学校）

【広報セクション】

米山 宏（公文国際学園中等部・高等部）

【BG 担当】

齋藤 智晃（渋谷教育学園幕張中学・高等学校）

松永 啓佑（市川高等学校）

関 考平（大妻中学高等学校）

【事務局スタッフ】

根岸 里帆（慶応義塾大学 3 年）

江口 花音（東京大学 2 年）

水谷 泰我（早稲田大学 1 年）

実行委員のみなさん



後援・協賛企業一覧

【主催】

全国中高教育模擬国連研究会（全模研）

【後援団体】（順不同）

外務省

文部科学省

国際連合広報センター

東京都教育委員会

公益財団法人 ユネスコ・アジア文化センター

一般財団法人 東京私立中学高等学校協会

【協賛企業】（順不同）

実教出版株式会社

株式会社 公文教育研究会

株式会社 第一学習社

株式会社 帝国書院

【助成】

公益財団法人 公文国際奨学財団

【協力】

理想科学工業株式会社

次年度大会のご案内

次年度の第9回全国高校教育模擬国連大会（AJEMUN）についてご案内いたします。
皆さま是非ご参加ください。

開催日時：2025年8月4日（月）、5日（火）

開催場所：国立オリンピック記念青少年総合センター

※予定は変更になる場合があります。

